

和歌山大学岸和田サテライト地域連携事業報告  
(2013年度)



---

## はじめに

和歌山大学は、大阪府岸和田市との地域連携推進協定にもとづき、2006年4月、岸和田市立浪切ホールに岸和田サテライトを開設しました。和歌山大学の学部教養授業、大学院経済学研究科授業および専門研究（租税法）を開講し、地域みなさんに高等教育の機会を提供しているほか、地域課題の解決に向けた各種の地域連携事業や住民のさまざまな学習ニーズに対応した生涯学習事業等を実施しています。

岸和田サテライトの基本事業は以下のとおりです。

1. 地域住民の多様な教育ニーズに対応した特色ある高等教育の実施（高等教育部門）
2. 地域研究の推進及び地域の課題をふまえた生涯学習の機会提供（地域研究・生涯学習部門）
3. 自治体、企業等と連携した地域活性化に資する事業の実施（地域連携・産官学連携部門）
4. 高校をはじめ地域の教育機関に対する大学情報の発信（高校連携部門）

これらは、岸和田サテライトが主体となって実施する事業活動と、本学の各担当部局が岸和田サテライトおよび南大阪地域で事業を実施する際の調整・協力等の諸活動からなっています。

本事業報告においては、前者の事業活動に重点をおきつつ、岸和田・南大阪地域における本学の教育研究および地域連携の活動概要を紹介しています。

2014年5月

和歌山大学岸和田サテライト長

藤田 和史（経済学部准教授）

---

和歌山大学岸和田サテライト地域連携事業報告（2013年度）

目 次

I 事業4部門	3
1. 高等教育部門（学部・大学院・租税法研究）	3
2. 地域研究・生涯学習部門（講座・セミナー・調査研究）	8
3. 地域連携・産官学連携部門（活動協力）	16
4. 高校連携部門（授業見学会・大学説明会）	21
II 「岸和田サテライト友の会」活動支援	22
III 大学同窓会との連携	25
IV サテライトオフィス運営と広報活動	26
V 地域連携事業の推進体制	30
VI 業務日誌・地域連携コーディネーター活動記録	32

資料編

## I 事業4部門

### 1. 高等教育部門 ー専門性と地域性を備えた大人の学びー

岸和田サテライトでは、和歌山大学が有する高等教育機能を活用して、地域活性化や社会人のスキルアップのニーズに即した学部開放授業（教養科目）と大学院授業を平日夜間と土曜日に岸和田市立浪切ホールで開講しています。

2013年度は、大学院授業8科目と学部開放授業4科目を開講し、受講者はのべ154名でした。

#### (1) 学部開放授業（教養科目）

学期	科目名	学部	担当教員	受講者数
前期	デザイン情報学入門 -人間とコンピュータを考える-	シス工	吉野 孝 教授 松延拓生 助教 曾我真人 准教授	15名 (3名)
	地域における博物館活動と図書館活動	図書館 紀州研	渡部幹雄 特任教授 (附属図書館長) 吉村旭輝 特任准教授(紀州研)	12名 (3名)

※受講者数欄のカッコ内は学部学生の数。

※図書館：附属図書館、紀州研：紀州経済史文化史研究所

「デザイン情報学入門」では、全6回の集中講義のうち、ウェブデザインに関する2回を和歌山大学（栄谷キャンパス）で実施しました。本学での授業は初めての試みでした。「地域における博物館活動と図書館活動」では、浪切ホールの教室での座学だけでなく、きしわだ自然資料館見学やフィールドワークも実施しました。

学部開放授業の受講者の中心は地域の社会人ですが、各学部の学生も加わります。社会人と学部生が地域（サテライト）でともに学ぶ機会が増えつつあります。



学期	科目名	学部	担当教員	受講者数
後期	地域環境・自然エネルギー革命 -環境と防災を統合した地域づくり-	経済	中村太和 非常勤講師	23名 (8名)
	ジェロントロジースポーツ -オトナのスポーツを考える-	教育	彦次 佳 講師	11名 (7名)

※受講者数欄のカッコ内は学部学生の数。

「地域環境・自然エネルギー革命」では、講義、グループ別発表、フィールドワークに加えて、授業最終日には大阪府立佐野工科高校を訪問し、木炭ガス発電システム、バイオディーゼル製造装置、廃油発電装置などの説明を受け、その後は教室をお借りしてのグループ別発表とまとめをおこないました。

授業期間終了後は受講生有志が施設見学を企画、実施するなど、地域に根ざした学びを深めました。



「ジェロントロジースポーツ」では、成人・中高年期における運動・スポーツのニーズやその意義について、ジェロントロジー(加齢発達学)の観点から学びました。

12月には「マスターズ甲子園」を舞台とする映画「アゲイン」の甲子園ロケがあり、受講生有志がエキストラとして参加するなど、教室外での楽しい交流もみられました。



---

(2) 大学院経済学研究科授業

学期	科目名	担当教員	受講者数
前期	国際租税法特殊問題	袴田裕二 教授	8名 (5名)
	租税法特殊問題	片山直子 准教授	7名 (3名)
	現代社会と民法 -民法に関連する日常生活の諸問題を分かりやすく-	吉田雅章 准教授	20名 (10名)

※受講者数欄のカッコ内は大学院生（岸和田・栄谷）の数。

大学院授業では、社会人科目等履修生と大学院生が同じ専門科目を学んでいます。仕事をもつ社会人の大学院生にとっては、平日夜間や土曜日に岸和田サテライトで開講される専門科目の授業は大切な学習の機会となっています。

「現代社会と民法」では、毎回テレビドラマや映画を素材に、不動産取引、住宅ローン、損害賠償、結婚と離婚、法定相続と遺言などのテーマで講義がおこなわれました。これらは社会人受講者のみなさんに身近で現実的な事柄ということもあるためか、授業の後半には熱心な質問が相次ぎました。



学期	科目名	担当教員	受講者数
後期	租税法英米判例特殊問題	片山直子 准教授 袴田裕二 教授	10名 (7名)
	法人税法特殊問題	田中俊男 非常勤講師	12名 (5名)
	公共経済学特殊問題	中島正博 准教授	9名 (3名)
	財務諸表論特殊問題	山田恵一 准教授	13名 (7名)
	政策形成論 -社会や組織の問題解決のための 論理的思考法入門-	江口雅祥 非常勤講師	14名 (10名)

※受講者数欄のカッコ内は大学院生（岸和田・栄谷）の数。

「公共経済学特殊問題」では、受講生（科目等履修生）は現職の自治体職員と地域の社会人からなり、8回の集中講義（金曜日夜間）では地方自治体の財政政策について、理論だけでなく実際の行財政活動を検討しました。文献輪読では、各回の報告者が入念に資料を準備しました。本授業は、「おおさか市町村職員研修研究センター(マッセ OSAKA)」の研究事業「地域分権ゼミナール」の一環としても活用されました。



「政策形成論」では、社会や組織のマネジメントにおける明晰な思考や有効性の高いコミュニケーションをめざして、TOC(Theory of Constraints：制約理論)にのっとり、問題を可能なかぎりシンプルに分析する手法を身につけました。大学院生、自営業・公務員などの科目等履修生が受講し、それぞれの問題意識をもとに、講義、ワークショップ、毎回の課題提出に取り組みました。



---

(3) 大学院経済学研究科修士課程租税法研究（大学院ゼミおよび修士論文指導）

学期	科目名	担当教員	受講者数
通年	専門研究 I 及び 修士論文	片山直子 准教授	3名

2013年度、税理士を目指す3名の院生が岸和田サテライトで研究指導を受けました。

■サテライト蔵書



授業のテキストをはじめ、租税大学院生の研究に必要な専門書や学部授業の参考文献、地域と大学の連携に関する図書を中心に選書・購入し、蔵書の充実に努めました。

2013年度は、購入図書56冊（附属図書館購入17冊、サテライト購入39冊）、その他、各学部の定期刊行物の受入れ、本学教員の抜き刷り論文、他大学の報告書、自治体・教育委員会などの刊行物、大学院修了生からの専門書の寄贈が多数ありました。

■サテライト自習室

大学院生、科目等履修生を中心に、2013年4月～2014年3月に135件の利用がありました。

大学院生の論文執筆や授業の予習、文献検索のために自習室およびPC等が有効に活用されました。



## 2. 地域研究・生涯学習部門 ー住民自治のまちづくりと人材育成のためにー

### 2-1 わだい浪切サロン

毎月第3水曜日の夜（2月と8月を除く）、年間10回の“mini 和歌山大学”を開催しています。開始から5年を経て、「わだい浪切サロン」は地域への本学の教育・研究活動のPRの場としての役割を十分に果たすとともに、住民の多様な関心に応える学習・交流の機会として定着しています。

回	月日	内 容	話題提供者（所属）	参加数
51	4.17	シュンペーターのイノベーション論 -経済学史の視点から真意を読み解く-	阿部秀二郎 准教授 (経済学部)	52
52	5.15	岸和田の観光振興を考える -朝ドラ「カーネーション」・だんじり祭 調査から-	大井達雄 准教授 (観光学部)	67
53	6.19	オトナのスポーツを考える -Sports for Life を目指して-	彦次 佳 講師 (教育学部)	39
54	7.17	中国社会と日本社会 -比較すれば見えてくる-	三品英憲 准教授 (教育学部)	69
55	9.18	ナノテクノロジーがひらく世界 -『透明マント』から地域産業まで-	伊東千尋 教授 (システム工学部)	35
56	10.16	地域ブランドとデザイン -あなたの街にはブランド力がありますか?-	北村元成 教授 (観光学部)	52
57	11.20	高齢化する地域社会を考えるシリーズ① 高齢社会における福祉のまちづくり	足立 啓 教授 (システム工学部)	45
58	12.18	継承という名の創造行為 -高野口小学校、串本町檜野崎灯台官舎の保存 活用をめぐる-	本多友常 氏 (摂南大学教授 ・本学名誉教授)	42
59	1.15	熊野詣のはなし -参詣記と物語を読みとく-	大橋直義 准教授 (教育学部)	84
60	3.19	高齢化する地域社会を考えるシリーズ② 地域で支える高齢期の生活	村田順子 教授 (教育学部)	43

年間参加者合計 528名

---

「わだい浪切サロン」参加者アンケート（感想）から

◆ シュンペーターのイノベーション論

-経済学史の視点から真意を読み解く-

実学と虚学、両方の大切さが実感できました。経済学と経営学、ドラッカーとシュンペーターなどが何となくわかりました。イノベーションが今の日本につながっているのですね。（40代・男性）



◆ 岸和田の観光振興を考える

-朝ドラ「カーネーション」・だんじり祭調査から-

自分の住んでいる地域に振り返って、観光政策がどのようにおこなわれているのか調べようと思いました。（40代・男性）



◆ オトナのスポーツを考える -Sports for Life を目指して-

運動とスポーツの違い、オトナのスポーツの内容についてよく分かりました。高齢者のスポーツに対するニーズの多さに驚きを感じました。（40代・男性）



◆ 中国社と日本社 -比較すれば見えてくる-

今まで、日本と中国は同種同文だけれども全く異なる社会だとは感じていましたが、何故違うのかということは考えたことがありませんでした。今回の講義を聞いて本質を知ることができました。もっと、日本社と中国社との異なる点を知っていきたいと思いました。（20代・女性）



◆ ナノテクノロジーがひらく世界

-『透明マント』から地域産業まで-

新技術についてのお話、大変興味深かったです。是非他の技術も紹介してください。（30代・男性）



ナノテクノロジーで世の中が大変革するのですね。すごいです。（40代・男性）



◆ 地域ブランドとデザイン

-あなたの街にはブランド力がありますか？-

地域ブランドをデザインするにはアイデンティティを明確にすることが非常に重要であると認識しました。これは人と違う生き方、人生論にも応用できるのではと思いました。ブランド力はすごい！（40代・男性）



◆ 高齢化する地域社会を考えるシリーズ①

高齢社会における福祉のまちづくり

高齢社会におけるまちづくりについて新しい考え方が聞けて、とても参考になりました。自分なりに、これからの福祉のまちづくりについて考えたいと思います。（20代・女性）



◆ 継承という名の創造行為 -高野口小学校、串本町檜野崎灯台官舎の保存活用をめぐる-

歴史的な建物に対し、意味を見つけ、残していく力の入れ方がとてもすごいなと感じました。また、建築的に「残していきたいもの」と「建て替えたいたいもの」の見極めはとても大切だと思いました。（20代・男性）



◆ 熊野詣のはなし -参詣記と物語を読みとく-

史事と事実と物語の違いにとっても興味がわきました。熊野詣の旅行の様子について、時代の流れによって内容が変化し、当時の歴史とリンクした話題が登場することがよくわかりました。（40代・男性）



◆ 高齢化する地域社会を考えるシリーズ②

地域で支える高齢期の生活

多くの事例の紹介があり参考になりました。どのように活動が立ち上がるのかと思っていましたが、意外と、一人の人の一歩が肝心だと思いました。地域包括ケアに向けた住民の活動が課題ですが、一歩を踏み出すキーとなる人を見つけること、自然発生的に見守り活動ができるきっかけが必要かと思いました。（20代・女性）

---

## 2-2 地域課題研究型プログラム

### ミドル期からのライフデザインセミナーⅡ

「おとなが育つ”って本当ですか？ -地域とつながる暮らし応援おとな塾-」

高等教育分野の事業（学部開放授業、大学院授業）や「わだい浪切サロン」等では必ずしも対応が十分にはできない地域課題の解決を目指し、住民参加型事業の構築を目的として、2013年度は「おとなの発達」と地域社会をテーマに地域課題研究型プログラムを実施しました。

これからの超高齢社会を支える地域のあり方と、その担い手および将来の当事者となるミドル期世代の生き方について、生涯発達・生きがいの側面から課題を共有するセミナーを開催し、延べ138名が参加しました。（共催：岸和田市）

#### ■セミナーの開催

＜第1回 “おとなが育つ”って本当ですか？＞ 参加33名

日時 2014年2月2日（日） 13時～16時

会場 岸和田市立浪切ホール 研修室1

内容 講演・ワークショップ

村田 和子（和歌山大学地域連携・生涯学習センター長/教授）



＜第2回 現代若者者考 -世代間断絶を超えて-> 参加35名

日時 2014年2月9日（日） 10時～12時

会場 岸和田市立浪切ホール交流ホール

内容 講演と意見交換

越野 章史（和歌山大学教育学部准教授）



＜第3回 おとなの生涯発達と生きがい

-地域とつながる暮らしから-> 参加70名

日時 2014年2月9日（日） 13時～15時半

会場 岸和田市立浪切ホール交流ホール

内容 基調講演「おとなの生涯発達と生きがい」

堀 薫夫 氏（大阪教育大学教授）

分かち合うじかん -地域とつながる暮らしから-

鶴田 隆志 氏（岸和田健老大学学長）

中道キヨ子 氏（街かどデイハウス希望）

浮舟ゆかり 氏（岸和田ケアセンター希望）

藤浪 秀樹 （岸和田市政策企画課長）



---

## 2-3 浪切わくわく土曜塾

教員を目指す和歌山大学教育学部の学生たちが講師となって、小学生に楽しい学びの場を提供しました。“仲間と楽しみながら学ぶ”ことがモットーです。

- 日時 2014年2月15日(土)
- 場所 浪切ホール1階 多目的ホール
- 参加者 小学4~6年生： 午前の部7名、午後の部17名(計24名)  
教職員向け説明会：小学校3名、公民館4名、自然資料館2名、市職員6名
- 内容 土曜塾： 自己紹介、大阪府地図パズル&名所・名産フラッグ立て(手作り教材)、日本地図パズル(iPadアプリ)、岸和田CMづくり(iPadアプリ)
- 説明会： 教材・アプリの紹介、iPad体験、和歌山市での土曜楽交の実績



■「土曜塾」では、大学生が手づくりした教材「大阪府地図パズル」や日本地図を完成させるiPadアプリを使った対戦ゲームに挑戦しました。また、岸和田の名所・名物を紹介するCM作りにもチャレンジ。写真を選び、テロップやナレーションを考えて入力・録音。各グループでそれぞれの特色ある岸和田紹介映像を作りました。



### ■小学生の感想

【楽しかったこと】うまくコミュニケーションをとることができた／苦手な地図の学習を楽しむことができた／CMづくりが楽しかった／学校ではないことばかりで楽しかった／学校の学習より地図を覚えやすかった／対決形式のパズルが楽しかった



■「説明会」では、岸和田市の小学校や社会教育施設の教職員の方々を対象に、教育学部附属教育実践総合センターの豊田充崇准教授がこれまでの教育実践活動について紹介しました。和歌山市内で実施している「土曜楽交」(小中学生対象の学習講座)の多様なプログラムや、iPadを使用した学習の可能性などについて説明があり、参加者も教材アプリを体験しました。

---

## 2-4 第12回 地域発展学習プログラムの開発と実施に関するセミナー

(地域連携・生涯学習センター)

和歌山大学地域連携・生涯学習センターは、地域発展のための主体的力量形成に貢献する学習内容と実施のあり方を探求する「地域学習発展プログラムの開発と実施に関するセミナー」(岸和田会場)を毎年開催しています。2013年度は、「生涯学習と社会参加」をテーマとして、基調講演とパネルディスカッションがおこなわれました。

(共催：岸和田市・岸和田市教育委員会)

### ■セミナーの開催

「生涯学習と社会参加 -おとなが育つ地域社会の創造-」 参加 62名

日時 2014年2月22日(土) 13時~16時半

場所 岸和田市立浪切ホール特別会議室

後援 岸和田サテライト友の会

内容 開会あいさつ 池際 博行(和歌山大学理事・教育学生支援機構長)

基調講演「地域創造と生涯学習」

佐藤 一子氏(法政大学教授)

パネルディスカッション 人が育ちあう地域社会に向けた大学の役割

藤野 公之氏(文部科学省生涯学習政策局生涯学習総括官)

中川 知子氏(貝塚市立中央公民館職員)

楠 富春氏(NPO 法人紀州粉河まちづくり塾会長)

西田 喜一氏(和歌山大学大学院教育学研究科学生)

神谷 千春(岸和田サテライト地域連携コーディネーター)

コメンテーター： 佐藤 一子氏

コーディネーター： 村田 和子(地域連携・生涯学習センター長/教授)

閉会あいさつ 藤浪 秀樹(岸和田市政策企画課長)



---

## 2-5 地域研究への支援

### (1) 特別支援教育コーディネーターフォーラム

(教育学部特別支援教育学教室 代表：小野次朗 教授)

本事業は、本学「独創的研究支援プロジェクト：『地域を支え、地域に支えられる大学』づくり研究支援型」(2013 年度)に採択された「特別支援教育推進のためのリカレント教育に関する研究」の一環として実施しました。岸和田会場(浪切ホール 研修室)を含む本学および和歌山県内の計5つの会場をテレビ会議システムで結び、講演・事例発表・意見交換をおこなうもので、神谷千春地域連携コーディネーターがプロジェクト構成員として参画しました。

岸和田会場での5回の実施には、小中学校教員を含むのべ75名の参加がありました。地域の学校教員や関係者が特別支援教育について学びあう貴重な機会として定着しています。

開催日	回	講演テーマ・担当教員	参加数
6.26	46	「特別支援学校高等部の新しい教育課程の試み -トラウマを抱えた発達障害のある生徒の指導と支援-」 (武田鉄郎 教授ほか)	17名
7.24	47	「障害者就業・生活支援センターの実践：学校との連携を 視野に入れて」(古井克憲 准教授ほか)	11名
9.25	48	「発達障害、特に学習障害の子どもたちへの支援と気づき -チェックリストの使用とMIMの実践-」 (小野次朗 教授ほか)	20名
10.23	49	「知的障害・発達障害のある青年にとっての教育年限延長の意 味と意義」(山崎由可里 教授ほか)	17名
11.27	50	「特別支援教育におけるICTの活用と情報モラルの指導」 (江田裕介 教授ほか)	10名



## (2)「地域調査研究」フィールドワーク

経済学部（藤田和史 准教授）

経済学部授業「地域調査研究」が、8月20日から23日までの4日間、泉州地域をフィールドにして開講されました。今年度は、下記の訪問先にて、泉州の繊維産業の歴史と現状について、聞き取りと工場などの見学をしました。訪問先との調整は松本俊哉地域連携コーディネーターが担当しました。

学部生に加えて、岸和田サテライト友の会会員も参加し、多くの企業、施設を訪問しました。

【協力いただいた企業・団体等】

特別講義 「大阪繊維産業における現状・課題と方向性」

大阪産業経済リサーチセンター 松下 隆 氏

- ・自泉会館
- ・植田毛織株式会社
- ・大阪タオル工業組合
- ・家次庄平タオル有限会社
- ・大正紡績株式会社
- ・ダイワタオル協同組合
- ・木下織物工場
- ・田尻歴史館
- ・熊取交流センター煉瓦館
- ・辰巳織布株式会社
- ・JAいずみの「愛彩ランド」
- ・井坂酒造場



---

### 3. 地域連携・産官学連携部門 ー大学と地域をむすぶ新たなとりくみー

#### (1) 防災にかんする講演・支援活動

(防災研究教育センター)

岸和田市・教育委員会および地域団体などからの防災活動にかかわる相談・依頼を受けて、岸和田サテライトでは本学防災研究教育センター（教員）の講演会講師などのコーディネートおよび現場支援を行いました。

#### ◇ 和歌山大学式丸太コンロ「木いぶ」実演

(6月23日：岸和田市立福祉総合センター公園)

子どもたちの冒険遊び場「きしわだプレーパーク」で「木いぶ」の実演をおこないました。NPO 法人和歌山木質資源開発機構より城保宏 に協力いただきました。

(担当：今西 武 客員教授)



#### ◇ ときわ家庭教育学級

(7月2日：岸和田市立常盤青少年会館)

「地震に備える実践講座」において、丸太コンロ紹介、災害時簡易トイレづくり体験、DVD『3.11 メッセージ』上映と解説をおこないました。(担当：今西 武 客員教授)



#### ◇ 避難所設営体験講座

(8月24日：岸和田市立大芝小学校)

岸和田市自治振興課、公民館、岸和田市社会福祉協議会共催の講座において、本学防災研究教育センターが開発（実用新案登録済）したダンボール間仕切りを使用した設営訓練をおこないました。(担当：今西 武 客員教授)



#### ◇ DVD『3.11 メッセージ』上映

(10月1日：岸和田健老大学)

250名の健老大学生のみなさんに、講演「リアルな防災対策」とともに3.11メッセージを上映、解説しました。

(担当：今西 武 客員教授)



---

◇ ラチオきしわだ「岸和田を元気にする人々」出演

(10月24日)

コミュニティ FM ラジオ番組において、被災時や避難後のライフライン、実践的な防災訓練のありかたについてお話ししました。(担当：今西 武 客員教授)



◇ 防災福祉コミュニティシンポジウム

(11月23日 岸和田市立文化会館(マドカホール))

岸和田市・岸和田市消防本部が主催するシンポジウムには400人近くの参加があり、本学防災研究教育センター長の此松昌彦教授がコーディネーターを務めました。



---

(2) 大阪中学生サマーセミナー in 岸和田

(学生自主創造科学センター)

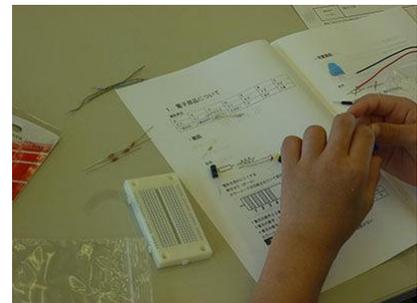
8月3日、大学コンソーシアム大阪および南大阪地域大学コンソーシアム加盟大学が講座を提供する「大阪中学生サマーセミナー」に本学学生自主創造科学センター（クリエ）が参加、府内中学生対象の2つの科学教室を実施し、30名の中学生が参加しました。

サテライトでは広報PRと当日の実施支援をおこないました。

(岸和田市立浪切ホール研修室1)

◇ 午前「電子工作」

回路試作に使われるブレッドボードにコンデンサ、トランジスタ、LED、電池ボックスなどの部品を取り付けて、簡単な電子回路を製作しました。回路図を見ながら作った自分の回路が実際に動くと感動します。電子部品の働きを学ぶとともに、ものづくりの楽しさを体験できました。



◇ 午後「ゲームプログラミング」

カードゲームの勝ち負け判定のプログラミングを通じてコンピュータの基礎を学びました。あいまいな命令を理解できないコンピュータには、1つ1つの項目を正確に指示する必要があります。自分で作ったゲームのデータはメモリーに保存して持ち帰りました。



---

(3) 国際シンポジウムの開催協力

「産業界との連携による実践的教育の新たなカタチ

-Agribusiness 教育プログラムの可能性-

(経済学部国際・地域連携オフィス)

主催：和歌山大学

協賛：岸和田市

岸和田商工会議所

株式会社池田泉州銀行

経済学部国際・地域連携オフィスが中心となり開催した標記シンポジウムにおいて、岸和田サテライトは事前調整、準備、広報、当日運営等に協力しました。

日時 2014年3月16日(日) 14時～17時

会場 岸和田市立浪切ホール特別会議室

内容 基調講演「2014年 New ビジネスの可能性と実践的教育の必要性について  
～海外におけるアグリビジネスの事例をふまえながら～」

Leandro De Sa 氏 (Growth Phases LLC 最高責任者(CEO))

パネルディスカッション

「アグリビジネスと高等教育機関との連携の可能性」

Leandro De Sa 氏

河村 能夫 氏 (京都府立農業大学校校長・龍谷大学名誉教授)

児玉 典男 氏 (紀州観音山フルーツガーデン 農業生産法人柑  
香園代表取締役会長)

大学生農業サークル「アグリコ」

コーディネーター 足立 基浩

(経済学部教授・和歌山大学アグリビジネススクールプロジェクト推進室長)



---

(4) 和歌山大学教員免許状更新講習(岸和田会場)

(教務課 教員免許状更新講習係)

8月3日・4日、9日・9日・10日・11日、岸和田市立産業高等学校を会場に和歌山大学教員免許状更新講習(岸和田会場)を開催、教育学部の教員16名と外部講師2名が13科目を担当しました。地域の小・中・高等学校、支援学校、幼稚園等の教員延べ495名(必修1科目153名、選択12科目342名)が受講しました。

岸和田サテライトでは、講習の募集要領配布と案内をおこないました。

---

#### 4. 高校連携部門

##### (1) 岸和田市立産業高等学校からの授業見学・懇談会

(経済学部)

7月10日、岸和田市立産業高等学校の教諭と生徒が和歌山大学経済学部（栄谷キャンパス）を訪問しました。

経済学部教員による学部紹介、大講義室での授業やゼミ体験に続いて、附属図書館と学生自主創造科学センター（クリエ）を見学。その後、岸和田市立産業高校出身の在學生との懇談をおこないました。



##### (2) 和歌山大学説明会 in 岸和田

(入試課・各学部)

6月16日、岸和田市立浪切ホールにて「和歌山大学説明会 in 岸和田」を開催し、地域の高校生、保護者など約200名の参加がありました。

岸和田サテライトでは、広報など地域向けの情報発信に協力しました。



---

## Ⅱ 「岸和田サテライト友の会」活動支援

岸和田サテライト友の会は、受講生の同窓会的組織として、これまで年2回の講演会を開催してきました。

2013年度も下記のとおり夏季および冬季の講演会を実施し、岸和田サテライトが事務局として年間を通じた活動支援・協働にとりくみました。

### (1) 岸和田サテライト友の会総会および夏季講演会

総会では、今後の活動の活性化を目的とする役員の補充が承認されました。

講演会では、岸和田サテライトでの科目等履修生を経て和歌山大学大学院経済学研究科を修了した友の会会員が修士論文の概要発表をおこないました。続いて、後期開講の学部開放授業「地域環境・自然エネルギー革命」のプレ授業として講演を実施しました。

日 時 7月20日(土) 13時～16時半

場 所 岸和田市立浪切ホール 研修室1

内 容 総会(会計報告、役員改選、会員懇談)

修士論文報告会

「戦前期大阪における紡績産業の分析」 作田 孝子 氏

夏季講演会(後期開講授業プレ講義)

「東日本大震災・フクシマから何を学ぶか -ライフラインからライフスポットへ-

中村 太和 氏(和歌山大学非常勤講師)

後期サテライト開講授業説明

神谷 千春(岸和田サテライト地域連携コーディネーター)

参 加 43名(友の会会員、一般参加者)



---

## (2) 冬季講演会

冬季講演会は、「3.11 と地域防災」をテーマとする講演会を開催しました。講演会の後に、学部開放授業「地域環境・自然エネルギー革命」を受講した受講生が成果報告を行なうなど、新たなとりくみとなりました。

日 時 2014年1月18日(土) 14時～15時半

場 所 岸和田市立浪切ホール 研修室1

内 容 冬季講演会

開会あいさつ 平田 健正 (理事・副学長、地域創造支援機構長)

講演「3.11 と地域防災」

今西 武 (防災研究教育センター客員教授)

学習活動報告

金野精一郎氏 (岸和田サテライト友の会会員)

鱧谷 納氏 (岸和田サテライト友の会会員)

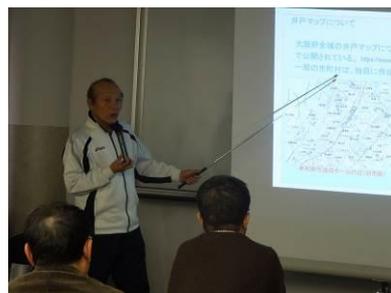
山野 秀樹氏 (岸和田サテライト友の会会員)

梅田 由美 (事務補佐員)

次年度前期サテライト開講授業説明

神谷 千春 (岸和田サテライト地域連携コーディネーター)

参 加 31名 (友の会会員、一般参加者)



---

### (3) その他のとりくみ(友の会活動)

#### ◇ 岸和田市民フェスティバル見学

(5月3日 岸和田市中央公園)

岸和田サテライト友の会役員と岸和田サテライト地域連携コーディネーターが岸和田市民フェスティバルを見学し、来年度の出展参加についての参考としました。



#### ◇ 岸和田市市民活動パネル展

(10月15日～22日 岸和田市役所)

岸和田市で活動する団体が活動をPRするパネル展に岸和田サテライト友の会が出展し、友の会の活動を紹介するパネルを展示しました。



#### ◇ 幹事会の開催

夏季・冬季講演会の企画や来年度の市民フェスティバル参加に向けて、1～2ヵ月ごとに幹事会を開催、役員のみなさんとサテライトスタッフが協力して運営をおこないました。



---

### Ⅲ 大学同窓会との協力

「女性のハッピーキャリア応援のつどい」

(柑芦会大阪支部・岸和田サテライト)

経済学部同窓会・柑芦会大阪支部との共催により、地域の同窓会活動の活性化を目的にセミナーを開催しました。

働く女性への応援と仕事と女性を考える内容のセミナーには、他学部を含む本学同窓生、岸和田サテライト友の会会員、柑芦会員および役員の方々、関係教職員等が参加しました。女性中心のつどいにふさわしく、ティータイムを設けて和やかなひとときとなりました。

日 時 2014年2月1日(土) 13時～16時

場 所 岸和田市立浪切ホール交流ホール

内 容 開会あいさつ 青柳 明雄(柑芦会大阪支部支部長・学長室付特任教授)  
講演 「輝く人であるためのタイムマネジメント ～一瞬と一生に真心を～」  
阪口 葉子 氏  
(元ユナイテッド航空関西国際空港支店長・経済学研究科43期生)

テーブルトーク

「はなまるワーク&ライフ、私の場合」

平井美那子 氏(南海電鉄株式会社・経済学部58期生)

吉浦 昌子 (キャリアセンター観光学部特任助教)

阪口 葉子 氏

コーディネーター 青柳 明雄

参 加 40名



---

## IV サテライトオフィス運営

2013年度は、地域連携コーディネーター2名の常勤配置4年目、事務補佐員配置3年目を迎え、和歌山大学の南大阪地域における学外拠点・窓口としての機能が充実したことにより、連携事業の幅が広がりました。また、岸和田サテライト事業の認知度の向上とともに、諸団体とのさまざまな交流が生まれています。

広報では、前年度に引き続き、岸和田市『広報きしわだ』、岸和田商工会議所『きしわだ所報』、地域のミニコミ紙等での事業案内をおこないました。また、市域外への各種広報物の配布を拡大したことにより、堺・泉北から和歌山市までの住民の受講や浪切サロンへの参加が増加しました。

### (1) 広報活動の充実・拡大

#### ■ ウェブサイトの運営

岸和田サテライトウェブサイトにおいて引き続き各種事業の開催案内や事業実施後の記録公開など、速やかな情報発信に努めました。また、地域連携コーディネーターと事務補佐員によるブログ「岸和田サテライトの毎日」の更新頻度を上げ、サテライト事業や地域連携などの情報発信を積極的に行いました。

#### ■ 「岸和田サテライト通信」発行

サテライトの多方面にわたる事業を定期的で紹介するために、「岸和田サテライト通信」(vol.10-13)を発行しました。



#### ■ 岸和田商工会議所との連携

岸和田商工会議所の会報『きしわだ所報』にサテライト事業の案内を掲載していただくとともに、4月号から9月号まで、吉村典久経済学部長（教授）が「経営学四方山話」、10月号～3月号まで、観光学部竹田明弘准教授が「仕事が好きになるマネジメント」のタイトルでコラムを掲載しました。



## ■浪切ホールとの連携

浪切ホール友の会会員向け広報リーフレット「ナミトモ」に、わだい浪切サロンをはじめとするサテライト事業の案内が掲載されました。



## ■その他

本学広報室や経済学部同窓会・柑芦会大阪支部に随時、わだい浪切サロンやその他のサテライト事業について案内し、ホームページなどへの掲載を依頼しました。

友の会会員や、わだい浪切サロン参加者で事業案内を希望された方々には定期的にメールでの案内を配信しました。

## (2) 情報交換の機会拡大

月例の「岸和田市協働推進チーム会議」に地域連携コーディネーターが参加し、岸和田市自治振興課、政策企画課、生涯学習課、岸和田市社会福祉協議会・ボランティアセンターなどの職員との情報交換、地域における各種連携事業の調整や課題検討を定期的に行いました。



## (3) 視察受け入れ、事例報告への協力

2013年度は、和歌山大学学生1名と大阪教育大学学生1名が地域連携コーディネーターの役割および生涯学習と大学をテーマに、岸和田サテライトへヒアリング調査に訪れました。

また、11月27日、神谷千春地域連携コーディネーターが大阪教育大学の授業「生涯教育と高等教育」において、岸和田サテライトのとりくみについて報告しました。

---

#### (4) 地域連携コーディネーターの研修機会への積極的参加

地域連携コーディネーターの能力向上および他大学の先進事例の情報収集などを目的として、学内外の研修機会に積極的に参加し情報交換に努めました。

##### ■産学連携学会第11回大会

6月20日・21日、岩手県盛岡市で開催された産学連携学会第11回大会に地域連携コーディネーターが参加し、全国各地の大学や自治体でとりまかれている産学連携および地域連携の事例発表を聴講しました。本学からは、システム工学部の河崎昌之准教授より、和歌山大学の産学官交流事業の参加者にかんする分析について発表がおこなわれました。



##### ■「第2回地域と大学を繋ぐコーディネーターのための研究実践セミナー」

11月28日・29日、大学の地域連携にかかわる業務を担当する教職員の情報交換を目的として、本学主催の合宿形式のセミナーを和歌山県田辺市で開催しました。地域連携コーディネーターは主催担当者として企画立案に携わり、当日の運営を担うとともに、本学のサテライト事業について分担して報告しました。セミナーの報告および研究論文等からなるブックレット『大学地域連携研究 vol.1 地域と大学を繋ぐコーディネーターネットワーク構築事業』を2014年2月に発行し、参加大学・学内教職員に配布しました。



---

## ■学内・学外におけるシンポジウムなど

本学の研究・教育シーズの把握、今後の大学の発展に向けた課題の理解のために、地域連携コーディネーターが各種のシンポジウムなどに年間を通して積極的に参加しました。

- ・大阪観光大学「泉州観光学講座」(5月23日 泉南郡熊取町)
- ・岸和田市観光振興ワークショップ(12月3日 岸和田市)
- ・和歌山大学シンポジウム「地域創造への連携 2014」(2014年2月12日 和歌山市)
- ・経済学部退官記念講演(2014年2月18日)
- ・おおさかの木でモクわく♪フェスティバル(2014年3月6日 岸和田市)
- ・産官学地域協働による人材育成の環境整備と教育の改善・充実」合同フォーラム(2014年3月10日 大阪市)
- ・和歌山大学南紀熊野サテライト修士論文報告会・退官記念講演会(2014年3月22日 田辺市) など



## (5) 地域からの問い合わせ・対応

2013年4月～2014年3月、電話、電子メール、訪問などによる201件の問い合わせがサテライトオフィスに寄せられました。各問合せに対して、回答、資料送付、本学各担当部署への照会などをおこない、速やかに対応しました。

- ・サテライト開講授業(募集要項、開講内容など)について 62件
- ・サテライト、地域連携・生涯学習センターの事業(わだい浪切サロン、地域発展学習セミナー等)について、業務時間について 38件
- ・本学の入試(大学案内、一般・推薦・社会人入試など)について 50件
- ・その他(教員との面談希望、本学の教育内容など) 51件

---

## V 地域連携事業の推進体制（会議の開催記録）

### （1）第16回 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会

5月29日、山本健慈 和歌山大学長、野口聖 岸和田市長をはじめとする会員の出席により地域連携推進協議会を開催しました。

2012年度事業報告、2013年度事業方針および事業計画案の承認に続いて、地域連携事業についての意見交換がおこなわれました。（岸和田市役所）



### （2）和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会

地域連携推進協議会のもと、連携事業の企画・運営・調整にあたる企画運営委員会を、2013年度は7回開催しました。年度後半は、2014年度からの新しい地域連携ビジョンおよびアクションプランを作成するため、集中して協議をおこないました。

#### ■第1回

5月8日（岸和田市役所）

#### ■第2回

7月3日（岸和田市役所）

#### ■第3回

9月18日（和歌山大学）

#### ■第4回

11月12日（和歌山大学）

#### ■第5回

2014年1月28日（和歌山大学）

#### ■第6回

2014年2月21日（岸和田市役所）

#### ■第7回

2014年3月31日（和歌山大学）



---

### (3) 和歌山大学岸和田サテライト連携協議会

岸和田サテライトの活用促進を目的とする連携協議会が、市内の産業団体（JA いずみの、岸和田商工会議所、大阪鉄工金属団地協同組合）、岸和田市教育委員会、岸和田市企画調整部および和歌山大学の役職者を委員として組織されています。

7月3日、2013年度連携協議会が開催され、2012年度事業報告および2013年度事業計画の報告、会計監査報告、意見交換等をおこないました。（だんじり会館）



### (4) 岸和田サテライト調整会議

和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会のもと、大学と市の日常的な情報交換と地域連携業務の調整を図るため、月例で調整会議を実施しています。岸和田市政策企画課担当者、サテライト長、副サテライト長、社会連携課職員、地域連携コーディネーター、事務補佐員が出席する調整会議に加えて、現場担当者レベルでの臨時調整会議を必要に応じて開催し、年間で21回の会議をおこないました。（岸和田サテライトオフィス）

## VI 業務日誌・地域連携コーディネーター活動記録

(場所の記載のないものは岸和田サテライト)

### ■2013年4月

- |    |                      |       |                                       |
|----|----------------------|-------|---------------------------------------|
| 09 | 臨時(担当者)調整会議          | 16    | 大学説明会 in 岸和田取材(浪切ホール)                 |
| 09 | (学内)調整会議(和歌山大学)      | 18    | 臨時(担当者)調整会議(岸和田市職員会館)                 |
| 10 | 大学院生データベース利用説明会      | 19    | コーディネーターネットワークセミナー会議(地域連携・生涯学習センター)   |
| 11 | マッセOSAKA 打ち合わせ       | 19    | 第53回わだい浪切サロン                          |
| 12 | 会議打合せ(岸和田市役所)        | 20-21 | 産学連携学会第11回大会参加(いわて県民情報交流センター)         |
| 17 | 市役所あいさつ回り(岸和田市役所)    | 23    | きしわだプレーパークで丸太コンロ「木いぶ」実演紹介(市立福祉総合センター) |
| 17 | 第51回わだい浪切サロン         | 25    | 経済学部アグリビジネス事業相談                       |
| 19 | 打合せ(岸和田市役所)          | 26    | 臨時(担当)調整会議                            |
| 20 | オフィスミーティング           | 26    | 第46回特別支援教育コーディネーターフォーラム(岸和田会場・浪切ホール)  |
| 23 | 会議打合せ(岸和田市役所)        |       |                                       |
| 24 | ラチオきしわだ打合せ(ラチオきしわだ)  |       |                                       |
| 30 | 臨時(担当者)調整会議          |       |                                       |
| 30 | 歴史教材作成の相談(豊田教育学部准教授) |       |                                       |

### ■5月

- 03 岸和田市民フェスティバル視察
- 08 ラチオきしわだ(大井達雄観光学部准教授出演)取材
- 08 第1回企画運営委員会(岸和田市役所)
- 08 (学内)調整会議
- 15 第52回わだい浪切サロン
- 17 調整会議
- 17 協働推進チーム会議(市立公民館)
- 23 大阪観光大学「泉州観光学講座」受講
- 23 オフィスミーティング
- 24 調整会議
- 24 岸和田サテライト友の会幹事会
- 29 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会(岸和田市役所)

### ■6月

- 05 (学内)調整会議(和歌山大学)
- 06 大阪観光大学「泉州観光学講座」受講
- 07 市立公民館・家庭教育学級防災講座取材
- 11 ラチオきしわだ(彦次佳教育学部講師出演)取材
- 12 臨時(担当者)調整会議
- 14 協働推進チーム会議(市立公民館)
- 15 岸和田サテライト友の会幹事会

### ■7月

- 02 常盤青少年会館・家庭教育学級防災講座取材
- 03 岸和田サテライト連携協議会(だんじり会館)
- 03 第2回企画運営委員会(岸和田市役所)
- 03 (学内)調整会議
- 03 「地域調査研究」打合せ
- 05 「地域調査研究」打合せ(自泉会館)
- 09 コーディネーターネットワークセミナー会議(和歌山大学)
- 10 ラチオきしわだ(三品憲英教育学部准教授出演)取材
- 10 市立産業高校経済学部見学同行取材(和歌山大学)
- 11 「地域調査研究」打合せ(大阪府咲洲庁舎)
- 17 調整会議
- 17 第54回わだい浪切サロン
- 19 オフィスミーティング
- 19 協働推進チーム会議(市立公民館)
- 20 岸和田サテライト友の会総会・夏季講演会、授業説明会(浪切ホール)
- 23 市立図書館「岸和田再発見」打ち合わせ
- 24 第47回特別支援教育コーディネーター

	フォーラム（岸和田会場・浪切ホール）	16	第56回わだい浪切サロン
30	「地域調査研究」打合せ（田尻歴史館）	19	「土曜楽交」視察（政策企画課担当者同行・和歌山市役所）
31	「地域調査研究」打合せ （南宗味噌、辰巳織布）	19	岸和田サテライト友の会幹事会
		22	協働推進チーム会議（市立公民館）
		23	地域課題研究型プログラム相談
		23	第49回特別支援教育コーディネーター フォーラム（岸和田会場・浪切ホール）
		24	ラチオきしわだ（今西武防災研究教育セン ター客員教授出演）取材
		24	オフィスミーティング
		26	租税法院生同窓会・懇親会（岸和田市内）
		29	調整会議
			■8月
01	「地域調査研究」打合せ（井坂酒造場）		
02	「地域調査研究」打合せ（大阪タオル工業 組合、熊取交流センター煉瓦館、ダイワタ オル協同組合）		
03	市立図書館「学習懇談会」出席 （市立図書館）		
05	「地域調査研究」打合せ（植田毛織、大正 紡績、木下織物、大阪府咲州庁舎）		
13	調整会議		
16	協働推進チーム会議（市立公民館）		
19	「地域調査研究」打合せ（辰巳織布）		
20-23			
	経済学部「地域調査研究」実施（藤田和史 経済 学部准教授）		
24	避難所設営体験講座取材（大芝小学校）		
28	ラチオきしわだ打合せ		
30	臨時（担当）調整会議		
			■11月
		08	サテライト学部開放授業「地域環境・自然 エネルギー革命」フィールドワーク打合 せ（府立佐野工科高校、岸和田市流木浄 水場）
		09	サテライト学部開放授業「地域環境・自然 エネルギー革命」見学・現地報告（府立佐 野工科高校）
		12	コーディネーターネットワークセミナー 会議（和歌山大学）
		12	第4回企画運営委員会（岸和田市役所）
		13	サテライト学部開放授業「地域環境・自然 エネルギー革命」有志フィールドワーク同 行（岸和田市流木浄水場）
		20	岸和田サテライト友の会冬季講演会打合 せ（和歌山大学）
		20	第57回わだい浪切サロン
		23	岸和田市「防災福祉コミュニティシンポジ ウム」（此松昌彦防災研究教育センター長） 取材
		27	大阪教育大学「生涯教育と高等教育」での 事例報告（大阪教育大学）
		27	第50回特別支援教育コーディネーター フォーラム（岸和田会場・浪切ホール）
		28-29	
			「第2回地域と大学を繋ぐコーディネ ーターのための研究実践セミナー」 （田辺市 Big-U、秋津野ガルテン）
			■9月
02	岸和田サテライト友の会幹事会		
03	市立図書館事業相談（市立図書館）		
11	オフィスミーティング		
17	（学内）調整会議（和歌山大学）		
18	第3回企画運営委員会（和歌山大学）		
18	サテライト授業運営会議（和歌山大学）		
18	コーディネーターネットワークセミナー 会議（和歌山大学）		
18	第55回わだい浪切サロン		
25	大学院進学希望者相談		
25	第48回特別支援教育コーディネーター フォーラム（岸和田会場・浪切ホール）		
			■10月
04	「岸和田版土曜楽交」打合せ（豊田充崇教 育学部准教授）（和歌山大学）		

■12月

- 03 岸和田市観光振興ワークショップ  
(市立産業会館)
- 03 岸和田サテライト友の会冬季講演会打合せ  
(和歌山大学)
- 04 臨時(担当)調整会議
- 05 コーディネーターネットワークセミナー  
まとめ会議(地域連携・生涯学習センター)
- 06 障害者自立支援協議会企画取材(市立福祉  
総合センター)
- 10 協働推進チーム会議(市立公民館)
- 11 臨時(担当)調整会議
- 11 「テレビ市政だより」打合せ  
(岸和田市役所)
- 12 オフィスミーティング
- 14 岸和田サテライト友の会幹事会
- 18 和大学生によるサテライト地域連携コー  
ディネーターヒアリング調査対応
- 18 第58回わだいな浪切サロン
- 20 臨時(担当)調整会議
- 21 自主学習グループみち公開講座(市立公民  
館)(わだいな浪切サロン広報)
- 26 「浪切わくわく土曜塾」打合せ(豊田充崇  
教育学部准教授)(和歌山大学)
- 26 岸和田サテライト友の会冬季講演会打合  
せ(今西武防災研究教育センター客員教  
授)(和歌山大学)
- 26 アグリビジネス国際シンポジウム打合せ  
(経済学部)(和歌山大学)
- 26 (学内)調整会議
- 27 観光振興にかかわる訪問相談対応

■2014年1月

- 07 臨時(担当)調整会議
- 08 アグリビジネス国際シンポジウム打合せ  
(浪切ホール)
- 11 「テレビ市政だより」取材撮影(授業風景)  
対応(岸和田市広報公聴課、テレビ岸和田)
- 15 第59回わだいな浪切サロン  
「テレビ市政だより」取材撮影対応(岸和  
田市広報公聴課、テレビ岸和田)

- 16 公民館館長会議出席(「浪切わくわく土曜  
塾」案内)(旭地区公民館)
- 18 岸和田サテライト友の会冬季講演会、26  
年度前期授業説明会(浪切ホール)
- 21 臨時(担当)調整会議
- 21 協働推進チーム会議(市立公民館)
- 23 岸和田サテライト事務局ネットワーク打  
ち合わせ(浪切ホール事務所、本学情報管  
理係、市政企画課)(浪切ホール)
- 23 臨時(担当)調整会議
- 25 市立公民館講座相談対応
- 28 第5回企画運営委員会(和歌山大学)
- 28 経済学部「地域調査研究」報告書作成打合  
せ(藤田和史経済学部准教授、国際・地域  
連携オフィス)(和歌山大学)
- 28 アグリビジネス国際シンポジウム打合せ  
(経済学部)(和歌山大学)

■2月

- 01 岸和田サテライト・柑芦会大阪支部共催企  
画「女性のハッピーキャリア応援のつど  
い」(浪切ホール)
- 02 ミドル期からのライフデザインセミナー  
Ⅱ「“おとなが育つ”って本当ですか？」  
第1回(浪切ホール)
- 05 オフィスミーティング
- 09 ミドル期からのライフデザインセミナー  
Ⅱ「“おとなが育つ”って本当ですか？」  
第2回、第3回(浪切ホール)
- 10 「浪切わくわく土曜塾」打合せ(豊田充崇  
教育学部准教授)(和歌山大学)
- 10 テレビ岸和田見学(米山ゼミ)同行取材
- 12 地域創造支援機構シンポジウム「地域創造  
への連携2014」  
(和歌山市フォルテワジマ)
- 14 臨時(担当)調整会議
- 15 「浪切わくわく土曜塾」実施、教育実践活  
動説明会(豊田充崇教育学部准教授)(浪  
切ホール)
- 15 岸和田サテライト友の会幹事会  
(学内)調整会議(和歌山大学)
- 18 経済学部退職記念講演出席(和歌山大学)
- 20 市立図書館事業「子ども向け郷土資料作

- 
- 成」相談会出席（市立図書館）
  - 21 第6回企画運営委員会（岸和田市役所）
  - 22 地域連携・生涯学習センター「地域発展学習プログラムの開発と実施に関するセミナー」（浪切ホール）
  - 22 経済学部アグリビジネス事業特別講義（ITと農業経営）実施支援、アグリビジネス国際シンポジウム打合せ（浪切ホール）
  - 25 アグリビジネス国際シンポジウム案内、訪問相談（JA いずみの）
  - 25 協働推進チーム会議（市立公民館）

### ■3月

- 01 経済学部アグリビジネス事業特別講義（アグリ流通）実施支援、アグリビジネス国際シンポジウム打合せ（浪切ホール）
- 05 臨時（担当）調整会議
- 05 オフィスマーケティング
- 06 おおさかの木でモクわく♪フェスティバル（浪切ホール）
- 10 「産官学地域協働による人材育成の環境整備と教育の改善・充実」合同フォーラム参加（大阪市内）
- 12 臨時（担当）調整会議
- 13 岸和田サテライト・岸和田サテライト友の会「岸和田市民フェスティバル」出展打ち合わせ（今西武防災研究教育センター客員教授）（和歌山大学）
- 16 和歌山大学主催「国際シンポジウム 産業界との連携による実践的教育の新たなカタチーAgribusiness 教育プログラムの可能性ー」運営協力（浪切ホール）
- 19 第60回わだい浪切サロン
- 23 南紀熊野サテライト修士論文報告会・退官記念講演会（和歌山大学南紀熊野サテライト）
- 29 岸和田サテライト友の会幹事会
- 31 第7回企画運営委員会（和歌山大学）

## 資料編（目次）

- A-1 岸和田サテライト開講授業 科目名・受講生数一覧
- A-2 岸和田サテライト受講生のべ人数の推移
- A-3 岸和田サテライト開講授業 受講生数および岸和田市・在勤者の推移
- A-4 2013年度 受講生アンケート結果
  
- B-1 わだい浪切サロン参加者数と岸和田市民の割合（回別）
- B-2 わだい浪切サロン参加者数と岸和田市民の割合（年度別）
- B-3 わだい浪切サロン参加者における男女比および岸和田市民の割合（60回計）
  
- C-1 「岸和田サテライト通信」vol. 10 ～ vol. 13
- C-2 「わだい浪切サロン」ちらし 第51回 ～ 第60回
- C-3 受講生募集、その他ちらし
  
- D-1 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会 名簿
- D-2 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会 名簿
- D-2 和歌山大学岸和田サテライト連携協議会 名簿
- D-4 和歌山大学岸和田サテライト教職員 名簿

和歌山大学岸和田サテライト地域連携事業報告（2013年度）  
2014（平成26）年 5月発行

国立大学法人 和歌山大学 岸和田サテライト

〒596 - 0014 大阪府岸和田市港緑町 1 - 1 浪切ホール 2F

TEL&FAX : 072 - 433 - 0875

E-mail : kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp

URL : <http://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/>